

令和5年度 (一社) 犬山祭保存会理事会 第3回 議事録

●日時

令和5年9月2日(土) 19:00～20:30

●場所

IMASEN 犬山からくりミュージアム玉屋庄兵衛工房 2F

●欠席者(敬称略)

【常任理事】副会長(大澤、前刀)、伝統文化副委員長(丹羽)

【理事】枝町組理事(土屋)、坂下大本町組理事(中村)、内田組理事(若山)、鶯飼町組理事(松田)

●本庁等出席者(敬称略)

経済環境部(中村部長)、歴史まちづくり課(加藤課長、市野主査)、観光課(小林課長)、観光協会(後藤)

●議事

I. ①会長挨拶 ②報告事項

II. 議題

① 「東海三県山・鉾・屋台連合会(仮称)」・第11回日本の祭シンポジウム(9/17)

② 「秋の犬山城下町まつり」(10月21・22日)

10/21(土) 車山曳廻し、10/22(日) からくり町巡り

③. その他

●配布資料

- ① 10月21日（土）交通規制区域
- ② 秋の犬山城下町まつり補助金について（案）
- ③ からくり町巡りスケジュール案

●議事内容

I.

① 会長挨拶

- ・会長：秋の犬山城下祭が近づいてきており、どうやって我々犬山祭保存会が協力していくかということでご意見をいただいていたが、本日はだいたいの方向づけをしていきたいのでよろしくお願ひしたい。

今、原市長が、世界遺産である姫路城以外の国宝4城を、グループとして世界遺産を目指していることについて、特に彦根が手を挙げてリーダーシップをとっている。先日、ユネスコの無形文化遺産である犬山祭の保存会が市民運動をやるので理事会で頼んで欲しい、という話を市長として、今度機会を作って頂くという話もした。なるべく、この保存会の理事会で、外の人の話を聞いて、城下町や犬山の町をどうまちづくりしていくか、ということも考えていきたい。祭はまちづくりである。この保存会も犬山祭をやることが一番の目的であるが、視野を広げて、犬山のまちづくり全体に保存会がどう貢献していけるかという議論もしながら運営していきたい。よろしくお願ひします。

報告事項

- ・企画広報副委員長：先月末に下本町と堀部亭の会場でイベントを行った。下本町界限のお店や皆さんを紹介して活気づけたいという趣旨で取り組ませていただいた。堀部亭でもジャズバンド等を演奏してもらい盛り上げていただいた。50年前の犬山市の写真展を皆さんに見ていただいてご意見を頂戴するんなど、皆さんに楽しんでいただけた会となった。また是非次回は皆さんにも遊びに来ていただきたい。
- ・魚屋町：今年の春の祭で、丸提灯から蠟漏れが大量に発生した。子供達の金襦袢にも蠟が大量に垂れてしまったこともあり、原因を調べたところ、ツーストンの提灯

にはふたがなく、隙間があり、そこからロウの塊が降り注いでいたことが分かった。ツーストンさんに来ていただき見ていただいたところ、やはり0.5ミリほどの穴があるとのこと。自町内では接着剤で対処することに決めたが、カメヤマローソクの蠟が、粘着度が足りないのではないかとということで、今問い合わせをさせていただいているところである。皆さん、お気づきの方もいると思うが、次回に向けて対策を考えた方が良くはないかと思う。

- ・会長代行：外町でも同様の事例があった。今後も夜車山を予定しているので注意してやっていきたい。

II. 議題

①「東海三県山・鉾・屋台連合会（仮称）」・第11回日本の祭シンポジウム（9/17）

- ・専務理事：シンポジウムのチラシは各町内の全戸に配布させていただいたが、是非来ていただきたい。それに併せて、東海三県のユネスコの協議会を作る会議についても予定している。

- ・会長：我々が属しているユネスコ無形文化遺産の登録の祭は全国で33あるが、そのグループの名称が全国山・鉾・屋台保存連合会であり、その事務局が秩父である。事務局を運営しておられる専務の高橋氏が高齢のため、秩父市も事務局を辞められるということで、組織の今後についての議論が始まったところである。我々の祭の背景が変わり目にきたということである。私の構想として、全国33の、東北から九州まで一つに束ねることは難しいので、まず東海三県で支部を作ろうということをご提案した。単独の祭保存会の提唱では難しいところがあり、至学館の大学の肩書で誘いかけたところ、やりましょうということになった。東海三県で、ひとつの支部を作ろうということになった。東海三県でユネスコ登録の祭は11あり、全国の3分の1である。愛知県が事務局を引き受けてくれたので、今回、犬山で11の保存会が集まって頂き、東海三県の支部を作る。単に修復の予算の話等だけでなく、祭を地域経済に活用する、特に観光に向けた動きを提案していく予定。こういった流れがあるということを皆さんにも頭に入れておいていただきたい。

- ・会長代行：祭シンポジウムが9月17日の13時半からとなる。出席をよろしくお願ひします。

②「秋の犬山城下町まつり」（10月21・22日）

10/21(土) 車山曳廻し、10/22(日) からくり町巡り

- ・会長代行：21日の車山曳き廻し、22日のからくり町巡りという議題で進めているが、事前に理事の皆さんにも資料を配布しているので、ご報告をいただいて進めていきたい。よろしくお願いします。
- ・魚屋町：本日町内で役員会をやっているのですが、確定はしていない。現時点では車山曳き回しは保留である。からくり町巡りは出展する。
- ・下本町：22日のからくり町巡りは参加決定している。21日の車山曳き回しは、どんでん館4町内について、一つの町内が出ない場合に車山を動かすとなったりすることになるので、そのあたりの話もまだ皆さんとはできていない。
- ・本町：車山曳き回しは不参加となる。今、余坂の余遊亭に車山を入れていただいているが、そこから動かせない状態なので、参加ができない。からくり町巡りは参加させていただく。
- ・余坂：自町内の前には本町さんの車山があり、余遊亭に置かせていただくよう調整中であるが、そちらに本町さんに移していただいて、自町内は出れるのかなという感じであるが、今は市と調整中。
- ・練屋町：三役の会議では、他の町内の長の出方を見ろという話であった。てこ連や若い衆は、曳ける機会があれば曳きたいということで、若い者がやりたいならやってみろ、という雰囲気になっている。ただし、計画通り、神社で飾り車山をやって、夜車山の支度をするというのは手間がかかりすぎるので、できるのなら町内で提灯を点けて持っていきたい。それが条件である。本日、皆さんの意見を聞いたが、若い人はやりたいという声は多い。反対の意見も半分以上いるのではないかと思うが、そういう意見はなかなか言いにくいのではないかと思う。しかし若い人がやりたいというのであればそのようにやってやろう、出来たらやれるように、協力しようという方向である。

- ・寺内町：委員会の方では全員賛成をもらった。また明日、町内の役員会で話をするので、運行については少し時間をいただきたい。

今回のことについて、段取りが悪すぎるのではないか。二か月を切っている段階で、早い段階で動いてやれるという所まで持ってこれなかったのかということと、また、5万と3万を合わせて2日間併せて8万であるが、毎年の45万からということで話を聞いているが、今の段階で、各町内もすでに年間の予定を立てていると思うし、自町内でも45万内でやるのは難しい。委員会の予算も少なく、5万で車山を曳くというのも到底無理な話である。委員会では、若い人たちで予算を出し合ったらいいのでは、という意見も出てきている。もう少し早い段階であれば、予算がない中で、みんな意見を出し合って進められたのではないかと思う。

からくり町巡りに関して、二回目が非公開になっている。寺内町は今仙でやるが、非公開なら自町内に戻ってやりたいと思う。

- ・外町：先月役員会を行い、土曜の車山曳き回しは参加となる。土曜の朝から車山組みをして、昼から行く予定。当日雨など中止になる可能性が高い場合は車山組み自体を止める予定。

日曜のからくり町巡りについて、車山に積んだ状態でからくりをやらせていただきたい。今の予定では外町は昼になっているが、もっと早い時間にやらせていただいてその後解体したい。解体についても告知して見に来ていただく形でやりたいと思う。

- ・名栗町：土曜午前中に車山組をするということだったが、土曜は人が少なくそれが難しいということで、10月1日の日曜日に車山組みをして、最悪は当日21日に車山組みをすることになるかもしれないが、いずれにしても祭には参加する方向で話が進んでいる。からくり町巡りも参加する方向。どんでん館の関係もあるので、どのようにやるかは各町内と相談していきたい。

- ・中本町：若い衆やてこ衆はやらせてもらえるなら喜んでやりたい、と言っている。町内の意見ではできればやりたくない、とも言っている。ただ、皆さん若い衆もやると言っているし、他町内がやる方向になるならやるしかない、という感じであ

る。質問として、13町内揃えるということだったが、一町内でもやらないとなったら、それでも行うのか。また、やるとなった時、どんでん館で提灯をつけて、準備をしてから出すようにしたい。様子見ではあるが、やる方向になれば、やれる準備はする。からくり町巡りは参加させていただく予定。

- ・鍛冶屋町：9月3日に町内役員会をやる予定で、明日に話をする予定。現在、どんでん館の入口の前に車山がある。その中に下本町・中本町の車山があるので、二町内がやらないというのであれば自町内もやらないということになるのではないかと思う。二町内がやるなら、やるという方向になる。4町内で検討をさせていただきたい。

からくり町巡りについては参加させていただく。

車山を曳くことについて、てこ委員の方とも話をしたが、町内の決定に従いますということなので、役員会で最後の打ち合わせをしてから、事務局に報告する予定。また、寺内町の方も言われたが、もっと早く計画を立てなければ無理でないかと思う。7月くらいに試案を出していただければ、もう少しそろった意見が出てくるのでは。また神社でなく町内周辺でやるといった場合にどうなるのか、また駅前通りを通れなかった場合、どのような運行経路になるのか等、また役員会で決まったことを後日報告させていただく。

- ・新町：町内協議をさせていただいた結果として、車山の運行は欠席、からくりのみの出展という形をお願いしたい。
- ・熊野町：21日は出る予定。22日のからくり町巡りもやらせていただく。熊野町も5年に一度の点検の年となるので、からくり町巡りと車山の解体を同時進行でやる予定。
- ・会長代行：やむを得ない事情があるご町内は仕方ないと思うが、せっかくの機会があるので、保留であるご町内も前向きなご検討をお願いしたい。運行については、皆さんのお話を聞いて、てこ委員会で大体の案はできているので、また皆さんにお示しできればと思う。
- ・車山の曳き廻しは、13輦が揃わなくてもやるということか。

- ・会長代行：全町内が揃わなくてもやる予定。
- ・会長：保存会がどうしてできたのか、ということも皆さんには認識していただきたい。50年前に、一町内では車山の修理ができないので、助け合おうということで作られたのが保存会である。一町内で無理ということであれば、保存会に問いかけて欲しい。一町内でできないということであれば、それを保存会全体の問題としてお互いに助け合っていこうということであるので、理事の皆さんも、町内の立場でなく保存会の立場で物事を考えていただきたい。祭だけではなく、城下町全体のまちづくりをどう考えていくかという立場で考えていただくのが理事の皆さんの役目だと個人的には考えているので、参考にしていきたい。
- ・寺内町：現在会員制になって、個人会員ということになっているが、自町内では委員会を立ち上げてやっているが、町内が、ということになるのであれば、町内単位の会員に戻してもらいたい。

理事の方が保存会のメンバーということをおっしゃられたが、自町内では町内の行事から犬山祭を切り離して委員会を立ち上げてやっている。45万のこともそうだが、町内単位で使うことは、委員会の中ではできない。会員制になって、2万6千円しかない。どこからお金を出すのかということになると、個人負担になってしまう。それを、町内で、ということであれば、町内単位に戻してもらいたい。

- ・会長：仰っていることは筋が通っている。なので、町内単位で考えるのではなく、保存会として考えるという流れを作りたい。町内で困ったら、保存会全体でお金を集めるような、そういう考え方を作りたい。町内単位ということだと限界がある。仰っていることは正論であるが、どういう流れを作っていくか、いうことで発想と行動が違ってくる。
- ・寺内町：個人会員なので、町内は関係ないということになると、町内でやりたくない人は会員でないということになる。そうすると、犬山祭をやるやらないという議論になった時に、会員でない人は祭に携わる必要がなくなる。そうすると、今までは町内で負担してやっていたが、それが個人単位となると、今会員になっていない人が多数おり、そうすると町内行事として犬山祭をやるができない。
- ・会長：その委員会を、てこ委員会とつなげなければいけないのでは。

- ・寺内町：それは関係ない。委員会自体はてこと理事で構成しているが、やりたくない人はそこにいれる必要はない。やりたい人とやりたくない人がいるが、全員が会員になっていけば問題はないが、自町内ではそうになっていないので、問題となっている。
- ・会長：てこ委員長に相談していただきたい。
- ・寺内町：てこの話だけではなく、町内全体の問題である。今まで通り、町内単位の会員であれば、町内で全員が活動してくれるが。今の会員制が気に入らないので会員に入っていない人もいる。今まで通り 16 町内でやってきたものを、個人単位として、町内は関係ないとおっしゃられたので、そうなると、町内で会員になっていない人は関係がなくなる。そういう人を説得してほしいとのことだったが、説得することは難しい。会員制が気に入らないのでやりたくないという人がいる。それを今まで通り、町内単位に戻してくれればやる、という人もいる。
- ・会長：会員制の理解ができていないのでは。
- ・練屋町：実情として、会員になっていないところが数件ある。車山に詳しい人だが、今の会員会費制に反対している。また、千円払わなければ祭に参加しなくてもいいんだよね、ということで反対している人もある。
- ・それまでは町内で出たくない人でも、なんとか町内でお願いをして参加をしてもらってきたが、会員制ができたことで、それならやらなくてもいい、となってしまった。それは、今まで町内が長年作ってきた組織を一回で壊してしまったところがある。あまり参加したくない人、その仕組みが気に入らないという人たち、何百年という歴史の中で、参加したい、参加しないにかかわらず、町内単位でやってきたことが、いっぺんに駄目になってしまった時でもあった。そうなると、何かをやる時には、町内のメンバーでありながら祭の会費を払っていないので参加しないという人も出てくるので、そういう人を説き伏せるということができなくなってくる。そういう人はお祭の仲間ではないということになってきてしまう。しかしそういう人たちも町内には存在している。
- ・会長：会員制にしたのは、やりたい人で祭をやるという主旨のものである。

- ・寺内町：それは分かるし、会員制に反対しているのではないが、やり方の問題である。会費制にして二年ほど経って、反省会のようなものをした方が良いのでは。直すところは直して、方向性を考えた方が良いと思う。ただ、町内で今までやってきた方が個人単位となってしまうというのはつらいものである。
- ・会長：祭をやりたくないという人もいるし、そういう意見も尊重したうえで、やりたい人で祭をやろう、というのが会員制の始まりである。しかし、根本的に人間というのは人の助けを借りないと生きられないし、人を助けたいというものである。祭をやりたくない人に、困った人にも手を差し伸べるという考えが祭の根底にある。ここはリーダーの集まりなので、やりたくない人をやらせるという雰囲気を作らない方が良いのではないかと思う。
- ・寺内町：だとするならば、もう少し柔軟に考えていただけたらと思う。
- ・会長代行：目的と手段が交錯して運営がスムーズに上手くいっていない部分もあるかと思うので、今後の理事会でまた議論を重ねていきたい。
- ・専務理事：個人的な意見としては、やれないとやらないは違うので、やらないのであれば理由は明確にしていきたい。
- ・春に車山を出しているのに、秋にも車山を出す理由について説明していただきたい。
- ・専務理事：秋にやる一番の理由は、祭の保存伝承のためである。
- ・400年近くやってきている犬山祭の歴史の中で、一年中祭をやっているというのは聞いたことがない。保存伝承ができていないのではないか。
- ・専務理事（追記）：お囃子、からくりの練習は通年で行った方が良いと以前から議論してきました。他地区と比べて犬山は練習不足である。秋にイベントとして行うことは練習となり、保存伝承に大きく関係することでしょう。
- ・会長代行：保存会の50周年事業として、また技術者研修会の全国大会開催もあり、その参加者の方のもてなしも含めて、それらと併せてということでもある。

- ・以前は市の応援があって出来たことであるが、今回のように13町内のみでできることではない。
- ・会長代行：今年の総会の時点で、秋に保存会50周年と全国大会とで、そこに併せて保存伝承と意味もついてくる、ということである。総会でもそのように報告させていただいている。
- ・秋にやるのであれば、春の時点で言って頂ければよかったのでは。
- ・魚屋町：50周年や全国大会のことについて総会資料に掲載されていたと言われても、一回もそのことを議論していないし、それに対する意見を出すといっても、具体的な話を聞いていないので出来ない。全国大会も、どういう規模でどういう方が来るのかということも分からない。50周年の話も聞いていない。

議論をするなら7月の頃に目的や段取りについての話をするべきだったのでは。

- ・会長代行：総会で10月に車山を出すということ自体は承認はいただいている。内容の詳細について情報が不足していたという側面はあると思う。各町内が試楽の夜に城前広場で13輜集結したい、ということをコロナ禍前に企画していたが、それが出来なかったので、それを今後やるための事前の方策として、今回の車山の運行を試運転でやってみたらどうか、というのがこ委員会が出た案である。また、我々としても、50周年を皆で祝うということと、技術者研修会の全国大会が開催されるという事もあり、皆さん方にもう一度犬山祭を再認識してもらえたらということも含めてやろう、ということである。それについて町内の皆さんに賛同していただけるかのご提案をさせていただいているところである。予算的に厳しいところもあると思うが、ご不明なご町内もあると思うが、是非皆さん参加していただき、50周年をお祝いしたいという思いがあるので、ご検討ください。色々なことは理事会で調整して行けたらと思う。
- ・専務理事（追記）：秋のイベントの件が周知不足、準備不足であるのは、保存会の対応のまずさではないかという意見は、事務局として申し上げたいことがあります。各町内での情報の共有の不徹底、あるいは町内での議論の不足も要因の一つではないでしょうか。

- ・50周年と全国大会があるという理由でやるのであれば、そのように町内で話をするが、来年に関してはどうなるのか。
- ・会長代行：来年がどうなるかはまた理事会で決めることである。
- ・会長：祭をやるかやらないかの話の前に、どういうまちづくりをしていくかの発想がなければならない。
- ・町内の実状としては、本町通りの観光客の繁栄や、ユネスコ無形文化遺産に登録するという事に興味がない者もいる。
- ・会長：そういう方もいるかもしれないが、ここに来ていただいている理事の方はリーダーなので、そのように後ろ向きな発言をしてほしくはない。
- ・補助金をいただけるのはいつ頃になるのか。
- ・専務理事：次回の理事会にて調整させていただく。
- ・会長代行：結論が出たら、それを元にした事業計画を作るので、また案を作成して皆さんにお示しするという形で進めたい。
- ・前回の理事会では、13町内を揃えるという話だったが、それを具体的に、21日にどうやるのか。どれくらいに規制をかけてやるのかという検証をできるのか、そういう具体的なイメージがこちらにはない。

市はどのようにPRするのか、どれくらいの人が集まることを想定しているのか、といったことを話していただきたい。やるという場合のイメージについて話していただきたい。

- ・経済環境課：先日、企画委員会を開催した。その中で、安全な運行、警備についてお話した。財源が不足していることもあるので、皆さんと協力しながらやっていくということである。PRについては最低限のことしかできない。からくり町巡りと同じレベルのことであると思って頂きたい。集まる人間も大きな規模ではないと思う。しかしこの時期は観光の繁忙期なので人は集まると思う。夜に車山が出るという情報がSNSで発信されたりなど、そういったことは予想できないところはあ
- る。針綱神社の回りを囲って人を入れれないといった計画はしていない。

警察には、犬山城下町を中心にこのような事を行うという話はしてある。どこを通るかという詳細な話をしないとイケない。

- ・会長代行：一週間以内に事務局にお返事をいただきましたら調整いたしますので、ご検討をよろしくお願いいたします。
- ・企画広報副委員長：企画で提案させていただいているTシャツについて。9月17日に締め切りということで皆さんに出していただきたいと思っている。よろしくお願いいたします。
- ・企画広報副委員長：前回理事会で各理事さんに、記念誌を作っていく上で冊子に掲載する文言をご確認いただきたいというお願いをしたが、まだ時間があるので、ご検討をお願いします。
- ・寺内町：からくり町巡りについて。町内でも今仙で二回やるのはどうなのかという声もあったので、考えさせていただきたい。現時点ではこのままでいい。
- ・外町：からくり町巡りについて、外町は10時半からでお願いしたい。午後は車山こわしに入るのでからくりが難しい。
- ・伝統文化委員長：皆さんへの確認だが、からくり町巡りの二回目はパンフレットにも時間を公開しないということでよろしいか。常時どこかでやっておりますという文言を載せる予定。

また、各町内の伝統文化委員の方に、交通整理のお願いをする予定なので、その打診をお願いします。

- ・魚屋町：2回目について、自町内としては人がいた方がやりがいがあるので、時間を公表してほしい。
- ・伝統文化委員長：パンフレットにどう書くか迷っているところなので、お配りした表について、資料に書かれている時間と違う時間でやられるご町内は後ほどご相談いただきたい。二回目についても分かりやすい形で書き方を検討する。どんでん館の4町内と犬山中学校の順番等についても決めていただきたい。

- ・からくり文化振興部：昨年、どんでん館前広場に、12時に生徒を集めて、本番前の申し合わせ練習という認識で演奏を行っていたが、それがサブ公演という形となった。中学校は一度集めて申し合わせの練習をするが、本番は13時で良い。雨天の場合はどうするか。雨天はからくりミュージアム内で行っても良い。

- ・伝統文化委員長：二回やる理由というのは、以前のように一カ所でやっていると、気が付かずに帰ってしまうお客様もいるのでということで二回行っている。

どんでん館について、演奏やその後の片付け等に関して、4町内と中学校とで順番を決めていただきたい。要望がありましたらこちらで調整する。片付けの手伝いの段取りも行うので、お願いします。

- ・魚屋町：雨天時に、余遊亭で行っても大丈夫か。

- ・伝統文化委員長：雨が降ると予定通りにはいかないところもある。やりやすい方法でやっていただく、また中止になっても仕方がない。

- ・寺内町：時間変更はいつごろまでか。

- ・企画広報副委員長：パンフレットの完成の時期による。早ければ早いほどありがたい。

- ・てこ委員長：車山曳き回しについて、事務局に連絡された時に、希望の運行経路をお伝えしてほしい。横断する時間もこちらで検討して警察に提出するので、そういった運行計画を全ていただきたい。

- ・会長代行：からくり町巡りについては、どんでん館の4町内には調整をお願いします。

次回理事会について、9月16日の予定。補助金もその日にお渡しする予定。

秋の犬山城下町まつり 参加状況 (9月5日時点)

車山曳き廻し からくり町巡り

枝町組	△	○
魚屋町組	△	○
下本町組	△	○
中本町組	○	○
熊野町組	○	○
新町組	×	○
本町組	×	○
練屋町組	△	○
鍛冶屋町組	△	○
名栗町組	○	○
寺内町組	○	○
余坂組	△	○
外町組	○	○

●次回日時

令和5年9月16日 19:00～

●次回場所

からくり館二階

●記録日

令和5年9月9日

●記録者

竹村

●署名

石田芳子

多和田兼道